

介護業務の注意点

口腔ケア



口腔ケアを行ううえで

口腔ケアが不十分だと、口腔内が不潔になり、誤嚥性肺炎を生じる可能性があります。口腔ケアでは飛沫が生じることがあるので、実施する際には注意が必要です。適切に防護具を着用しましょう。



口腔清掃時の注意点

- ・可能な方は、口腔清掃前に含嗽剤などで洗口してもらいます。
- ・セルフケアを可能な範囲で行ってもらいます。
- ・介助みがきを行う時は、介助者がマスク・手袋・アイガード・エプロン・フェイスシールド等を適切に装着します。
- ・義歯を装着している場合は、注意深く、丁寧に外します。
(乱暴に行うと歯や粘膜を傷めます)
- ・ブラッシングは細かくブラシを動かして、飛沫を減らしましょう。
- ・水を使うと、喉の奥に流れ込んで誤嚥するリスクがあるうえに、ムセやすくなり、飛沫が周囲に飛び散るリスクが増えます。
- ・口腔乾燥がある場合は保湿剤で潤して清掃し、清掃後は優しく拭き取りましょう。乾燥が強い場合は歯科医師にも相談下さい。
- ・口腔ケア後は十分な換気をしましょう。
- ・个人防护具除去後の手指衛生は確実にいきましょう。

義歯の洗浄

- ・外した義歯は飛沫が生じないように清掃しましょう。
- ・基本的には、夜間は外し、水または義歯洗浄剤を使用し、患者ごとに保管しましょう。
- ・義歯の管理は歯科医師・歯科衛生士の指導の下に行いましょう。



口腔清掃や義歯の洗浄は下記QRコードより動画でもご確認ください。



一般社団法人
日本老年歯科医学会
Japanese Society of Gerodontology